

2016年9月
No.16-106a(山)※1

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内いたしますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

■新規受託項目

- [2578] ペランパネル

※検査要領の詳細は裏面をご参照下さい。

■受託開始日

- 2016年10月1日(土)

以上

ペランパネル(血中抗てんかん薬濃度測定)

ペランパネル(フィコンパ[®])は日本において開発され、本年3月に製造販売承認された最も新しい抗てんかん薬です。

本剤は選択的AMPA(α -amino-3-hydroxy-5-methyl-4-isoxazolepropionic acid)型グルタミン酸受容体(AMPA受容体)拮抗剤であり、既存の抗てんかん薬とは異なる作用機序を持つため、効果が乏しい症例での有効性が期待されています。

グルタミン酸は中枢神経シナプスにおいて主要な神経伝達物質の一つであり、その受容体にはいくつかのタイプが存在しますが、AMPA型受容体はイオンチャネル型グルタミン酸受容体としてシナプス後膜に主として存在します。

AMPA受容体はてんかん波や神経細胞間のシグナル伝達などに大きな役割を果たしていると考えられていますが、本剤はそれらに拮抗し抑制することにより抗てんかん作用を発揮するため、既存の抗てんかん薬の作用機序である神経興奮性抑制および抑制系賦活化効果と異なる新しいメカニズムにより効果を発揮する唯一の薬剤です。

なお、本剤は「他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作)、強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法」において効果・効能が認められています。

軽度および中等度の肝機能障害のある患者ではクリアランス機能の低下により代謝が延長する可能性が示唆されており、血中濃度の測定によるモニタリングは有用と考えられています。

■検査要領

項目コード	2578
検査項目名	ペランパネル
検体量	EDTA-2Na血漿または血清 0.3mL ^{*1}
保存方法	凍結
検査方法	LC-MS/MS
有効治療濃度	(設定なし) ng/mL
所要日数	5~7日
管理料	470点 ^{*2} ([B001]特定疾患治療管理料「2」特定薬剤治療管理料)
主な商品名	フィコンパ [®] 錠
備考	<p>* 1: 検体採取方法について</p> <ul style="list-style-type: none">EDTA血漿の場合: 採血管(容器形態:PN2)にて採血後、転倒混和により攪拌。さらに遠心にて血球成分と血漿成分を分離後、血漿成分のみを提出用容器(容器形態:X)に移し、凍結の上でご提出下さい。血清の場合: 分離剤入り採血管は使用しないで下さい。測定値が分離剤の影響を受ける場合があります。 <p>* 2: てんかん患者であって抗てんかん剤を投与しているものに対して投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定できます。</p> <p>てんかん重積状態(全身性けいれん発作重積状態)の患者に対して、抗てんかん剤の注射等を行った場合は、所定点数にかかわらず、1回に限り740点を特定薬剤治療管理料として算定します。</p>
検査委託先	LSIメディエンス (→1)

■参考文献

花田敬久:脳21 16:322-328, 2013.

Yuji Mano et al.: J. Pharm. Biomed. Ana. 107:56-62, 2015.